



①

1



2

②

静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会実行委員会、静岡県および公益財団法人しずおか健康長寿財団の主催による第30回静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会総合開会式、および長寿たすけ愛講演会 2019 in 静岡が平成最後となる4月25日(木)、グランシップ中ホールにて開催されました。(写真①②)

本大会は、本格的な長寿社会を迎え、あらゆる世代の県民が自らの問題として長寿社会への理解と認識を深めるためには、世代を超えた連帯交流の輪を広げることが必要であり、高齢者を始め広く県民の参加を得て、スポーツ等を通じてふれあいと交流を図ることを目的に開催します。本大会は令和元年11月に開催される「第32回全国健康福祉祭和歌山大会(ねんりんピック紀の国わかやま2019)」の静岡県代表選手(静岡市民、浜松市民を除く)の選考会、一部の競技では静岡市代表選手、浜松市代表選手の選考会も兼ねています。

会場のエントランスでは、第5回ふじのくに健康づくりポスター・標語コンクールの入選作品の展示とふじのくにしずおか健康づくりサポーターによるブース展示が行われました。(写真③④)



③

3



④

4

開会アトラクションとして、学校法人鷺巣学園梨花幼稚園の園児たちによるマーチング演奏が行われました。一生懸命に演奏や行進に頑張る園児たちの姿に、選手の皆さんは競技への闘志も湧いてきたのではないのでしょうか。(写真⑤)

競技披露として静岡県ダンススポーツ連盟の演技が行われ、あでやかで流れるような各種のダンスは

開会に華を添えました。(写真⑥)



⑤ [5](#)



⑥ [6](#)

主催者、来賓の方々、選手団代表が壇上に勢ぞろいしたところで、本大会会長である、しずおか健康長寿財団の佐古伊康理事長が開会を宣言しました。(写真⑦⑧)



⑦ [7](#)



⑧ [8](#)

主催者代表として吉林章仁静岡県副知事が挨拶を述べられました(写真⑨)。続いて来賓として静岡県議会の落合愼悟副議長(写真⑩)が祝辞を述べられました。



⑨ [9](#)



⑩ [10](#)

アナウンスの指示により、各団旗を手にした選手団代表が壇上に並びました。(写真⑪)
大会役員や来賓からの祝辞や声援に応えるよう、選手団を代表してソフトバレーボールのお二人が選手宣誓を堂々と発せられました。(写真⑫)



⑪ [11](#)



⑫ [12](#)

卓球からテニス、ソフトボール等のスポーツ競技から、囲碁、将棋、俳句等の文化団体まで合計36の選手団となります。今回から合気道と民謡の2種目が新たに加わりました。

今年の大会は4月14日の健康マージャンを皮切りに、6月30日の合気道まで、県内各地において熱戦が繰り広げられています。選手の皆さんの奮闘を期待するとともに、11月開催の「ねんりんピック紀の国わかやま2019」では、健康長寿県として名高い静岡県の代表となられる選手の皆さんの活躍にも大いに期待が膨らみます。

開会式に引き続き第2部として記念講演会が行われました。題して「長寿たすけ愛講演会2019in静岡」です。壇上には主催者、来賓の方々が登壇されました。(写真⑬)

はじめに公益財団法人長寿科学振興財団の田邊穰理事が挨拶されました。(写真⑭)



⑬ [13](#)



⑭ [14](#)

続いて静岡県健康福祉部の池田和久部長が挨拶されました。(写真⑮)

今回の講演会は3名の演者により、講演①として「勉強」、講演②は「運動(体操)」そして講演③では「笑い」をテーマとして構成されています。

講演①は「人生100年時代を生きる生活習慣のサイエンス」と題して静岡産業大学副学長・経営学部教授の小澤治夫先生による講演です。運動、栄養、睡眠などを科学的視点で捉え、正しい習慣を身につけることの重要性を述べられました。快活な口調と粋なジョーク、壇上を右に左に動いては聴衆に訴えかけるスタイルは大変面白く、説得力がありました。(写真⑯)



15
⑮

15

16
⑯

16

講演②は前静岡県リズムムーブメント研究会会長の矢崎昭子氏による「みんなで体操・健康体操“すこやかエブリーダー”」の実技による体操の時間です。会場の皆さんも一斉に体を動かし全身がほぐれたようです。(写真⑰⑱)



⑰

17



⑱

18

講演③は「笑っていきいき健康長寿」として、人気絶頂の講談師、神田松之丞氏による講談2席です。普段、講談を聴く機会は多くはないと思われませんが、神田松之丞氏による独演会はチケットが手に入らないほどの人気で、会場の皆さんの期待通り、大いに笑わせてくれました。笑うことの大切さとともに会場でのライブ感の楽しさを存分に味わわせてくれました。(写真⑲⑳)



⑲

19



⑳

20

こうしたスポーツ、文化の交流イベントにより、静岡県民の健康長寿への意識がより一層盛り上がりますよう期待したいと思います。

取材：静岡地区担当 生きがい特派員 竹内 章